

平成22年度第2回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成22年8月27日(金曜日)林野庁会議室			
委員		栗田 誠(大学教授) 小竹 忠(公認会計士) 井原 俊一(ジャーナリスト)			
審議対象期間		平成22年4月1日～平成22年6月30日			
審議対象案件		159件	うち、1者応札案件23件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件		
抽出案件		10件 (抽出率6%)	うち、1者応札案件3件 (抽出率13%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率50%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			物品・役務等	10件	うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	物品・役務等	指名競争	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約(企画競争・公募)	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約(その他)	1件	うち、1者応札案 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		(特記事項)	・抽出の10件については、1者応札や改札率の高かったも・低かったものなどを抽出した。 ・審議対象案件159件のうち、都道府県との取り決めより相手方がさだめられているもの、契約相手方が限定されている等により随意契約された		
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。) (別紙のとおり)	回答等 (詳細に記述すること。) (別紙のとおり)	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
【これらに対し部局長が講じた措置】		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin-right: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div>			

事務局：林野庁林政部林政課会計経理第1班
 (注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>物品・役務等関係 〔抽出番号1：平成22年度林野庁情報誌「林野」の編集・版下製作業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準で「国民にとってわかりやすく見やすいもの・・・」とあるが、どのように評価されたのか。 ・「国民にとってわかりやすく」は誌の構成のうえで重要と思われるので、具体的に説明しておく必要があるのではと思う。 ・落札業者は、当庁の受託実績はあるのか。 ・一定レベル（基礎点：必須）以上の技術点であれば価格競争で落札者を決定する考えはないか。 ・技術点となる基礎点と加算点の配分の考え方を説明してほしい。 ・評価基準は、入札参加者には開示されているのか。 ・仕様書に「発注者が毎月示すテーマに基づき、取材、記事執筆を行う」とあり、専門的知識が必要と思われるなか、受注者が毎年変わることが想定されるが、成果物に問題はないか。 ・以前と調達方式が変更（随意契約から総合評価落札方式）された理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画提案書における紙面構成やプレゼンテーションにより判断している。 ・専門用語を一般用語とするほか、写真やグラフ使用等を総合的にイメージしている。 ・当庁との契約は初めてであるが、地方自治体での実績はある会社である。 ・総合評価落札方式を採用する事業については、要求する技術等の要素により、その成果が大きく影響されることから、技術点に重点をおいた方式であり、高品質で安価な調達を実現している。 ・基礎点は事業目的達成に最低限必要とする項目で事業により判断して必須点とし、他の項目を加算点としている。 ・評価項目及び評価点数については、開示している。 ・具体的な内容については、当庁職員と綿密な打ち合わせを行いながら事業を行っているところであり、現状では特段の問題は発生していない。 ・公共調達の競争性・透明性・公正性をより高めることが課題となったことから、広報事業等について総合評価落札方式で行うこととされた。
	<p>〔抽出番号2：気候変動に対応した森林の水土保全機能向上方策検討委託調査〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準の「分析手法は妥当なものであるか」、「調査項目・調査手法が明確であるか」の項目で大きく差がついているが、理由は何か。 ・事業計画の支出の部の間接経費については、積み上げ結果の額なのか、上限としての額なのか伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・差がついた2者についても専門的知識は有しているが、本調査に係る企画提案内容を審査した結果、左記の項目で差がついた。 ・間接経費については、受託者が応札したときの見積額であり、上限額である。
	<p>〔抽出番号3：平成22年度森林吸収源インベントリ情報整備事業（枯死木、リター、土壌等の炭素蓄積量の把握）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託した独立行政法人以外に当該事業を実施できる事業者はあるのか。 ・独立行政法人に対しては、交付金が交付されていると思うが、契約金額内に交付金と重なるものはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託者以外の事業実施可能者については不明である。 ・交付金は経常業務に対するもので、契約に伴う業務は交付対象外のものであり、重複する支出は行っていない。

<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人の剰余金の取扱を伺いたい。 ・独立行政法人は、職員の人件費を含まない入札価格となるが、民間と競合した場合に公平な競争が保たれないのではないか。 ・予定価格の設定を伺いたい。 ・当該事業は平成18年度からの継続事業となっているが、いつから一般競争入札となったのか伺いたい。 ・一般競争入札に変更したことによる効果を伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費については、交付金の予算に反映される。事業費については、中期計画終了時に返還となる。 ・民間と競合する場合は、自主的に応札を控えていると聞いている。 ・予定価格は、マニュアルに基づき決定している。 ・契約の透明性、公正性、競争性の確保の観点から平成20年度事業より一般競争入札を適用した。 ・一般競争入札に変更したことにより、落札率の低下が見られる。
<p>【抽出番号4：平成22年度空中写真ネガフィルム・デジタルデータ及び保管庫等管理業務一式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つある業務のうち、空中写真の精度分析や次年度撮影計画の業務は他の業務とは異質なものに思われるが、一括して発注する意味はあるのか。 ・業務の一部に、当該年度撮影の空中写真の検査業務が含まれているが、本物件の受注者は、空中写真撮影業務の入札に参加できるのか。 ・落札率が約80%とかなり低いが、昨年度も受注しているグリーン航業が大きく入札価格を引き下げた理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ破損の危険性を排除するためネガフィルムの保管庫の管理業務等を一括して発注したところである。 ・入札説明書において、空中写真撮影業務に応札ができない旨を明示している。また、入札時にこのことを確認している。 ・5つの業務を一括発注したこと、精度分析に対する費用が入札価格に大きく影響を与えることが考えられ、昨年より撮影箇所が減少したことによるものと推測するが、正確なところは不明である。
<p>【抽出番号5、6：平成22年度林野庁空中写真撮影及びオルソデータ作成等業務一式（留萌中部、第3飯豊山）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3飯豊山の第1回入札価格は予定価格を大きく上回っているが、予定価格の算定に問題はなかったのか。 ・第3飯豊山の3回の入札について、落札者のみが2回目、3回目に参加しているが、本物件を受注したい理由は何かあるのか。 ・入札価格に大きな差が見受けられるが、理由は何かあるのか。 ・撮影した写真はどのように活用するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格積算に必要となる危険率や撮影のコースを多めに積算したのではないかと推測する。 ・国土地理院が発注した、今回の撮影地区の近隣の撮影を受注したと聞いており、このことから本物件も受注したかったのではないかと推測する。 ・大手の業者は自社で航空機・カメラを所有しており、他の複数の業務も考慮して入札価格を設定したのではないかと推測する。 ・職員が使用する地形図の作製や森林資源の把握のための資料及び一般への販売も行っている。
<p>【抽出番号7：定期表彰用腕時計191個】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、腕時計を副賞としているのか。 ・平成21年度及び平成22年度と落札者が同様の落札率で受注しているが、競争は実質的に機能していると考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、副賞としている。 ・平成21年度は1者応札であったため、平成22年度は仕様の変更、公告期間を長くするなどの対応を行った結果、2者の応札があり、競争性は

<ul style="list-style-type: none"> ・毎年受注している落札者は、予定価格をある程度予測できるのではないか。 	<p>確保できていると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、必要な調査を実施して予定価格を決定している。
<p>【抽出番号8：平成22年度森林国営保険保険金等支払内訳書確認業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林保険協会の入札単価は、160円と650円の計810円ということか。 ・平成21年度も森林保険協会が落札率80.9%で受注しているが、同協会以外に実施可能な事業者は存在するのか。 <p>・保険金の支払いは、年間どれくらいかあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 ・森林保険に知識を有している者、保険の評価できる者を雇用している者を応札条件としており、今年度においては公告期間を1月に延長したものの1者の応札となったものである。また、予算額も300万円弱の少額でもあることから、入札に参加しなかったものとする。 ・平成21年度は災害が少なく、約4億円、近年で災害が多かった平成16年の台風では、平成17、18、19年度で約80億円の支払いを行っている。
<p>【抽出番号9：森林技術総合研修所庁舎の管理・運營業務一式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価落札方式を採用した経緯・理由や効果を伺いたい。 <p>・総合評価落札の方法の考え方を説明してほしい。(抽出番号1や2で採用されている方法との違いは何か。)</p> <p>・採点表の「評価内容」①～③の具体的内容は何か。</p> <p>・評価基準は、入札参加者に開示されているのか。</p> <p>・そのような資料に基づいて、評価・採点を実施しているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共サービス改革法が制定され、これに基づく公共サービス改革基本方針において、当該業務が民間競争入札（市場化テスト）の指定を受けて平成21年度は、市場化テストを実施したところであり、平成22年度においても民間競争入札により実施したところである。また、効果については、事業の実施体制等の事前評ができたほか契約金額の節約が図られた。 ・応札業者から企画書の提出を受け、評価基準表に基づき採点し、総合評価点が最も高かった者を落札者としている。 他の総合落札方式との違いは、内閣府より市場化テストの実施方法に示されたものに従って評価を行ったことによる。 ・評価基準表に記載しているとおりで開示している。 ・提案された企画書を基に、23項目について評価・採点を行っている。
<p>【抽出番号10：森林技術総合研修所食堂給食請負業務一式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度、平成21年度に続き、落札業者のみが同額で入札し落札しているが、他に受注能力のある事業者はいないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は他の業者が行っており、受注能力ある他の業者はあると思うが、従業員の確保の面での問題があるのではないかと思われる。
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会としての意見はないが、委員 	

からの意見等については適宜考慮して、今後の発注業務を進めて頂きたい。